

# 【会議録要旨】

会 議 名	第1回港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託 事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年7月10日（水）午前10時00分から11時00分まで
開 催 場 所	港区役所6階 相隣相談室
委 員	<p>&lt;出席者&gt; 5名          街づくり支援部長 野澤 靖弘委員長          街づくり支援部 都市計画課長 富田 慎二副委員長          街づくり支援部 住宅課長 野口 孝彦委員          街づくり支援部 建築課長 瀧澤 真一委員          街づくり支援部 土木課長 佐藤 雅紀委員          &lt;欠席者&gt; なし</p>
事 務 局	街づくり支援部都市計画課都市計画係
会 議 次 第	<p>1. 開会          2. (1) 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者の選考について          (2) その他          3. 閉会</p>
配 付 資 料	<p>【事前配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 事業候補者選考委員会設置要綱</li> <li>・資料2 事業候補者選考委員会委員名簿</li> <li>・資料3-1 募集要項（案）</li> <li>・資料3-2 提案要求仕様書（案）</li> <li>・資料3-3 様式1～8（案）</li> <li>・資料3-4 審査基準表（案）</li> <li>・資料4 事業候補者選考実施スケジュール（案）</li> </ul>
会議の結果及び主要な発言	
(発言者) 委員長	<p>1 開会          （開会の挨拶）          2 議題</p>

事務局 委員長 D委員	<p>(1) 港区都市計画情報提供サービス移行作業等業務委託事業候補者の選考について</p> <p>(事務局より資料説明)</p> <p>今の説明内容について、ご質問ご意見等お願いします。</p>
事務局	<p>二点質問します。まず一点目、事業全体の5年間の見積もりは、あらかじめ書かなくても問題ありませんか。決まった後に業者選定委員会にかけ、見積もりをあわせ、全くあわないというケースも考えられるので、そこが気になります。次に二点目、資料3-4別紙3項番1について、項番2・3は評価項目に対して評価の視点の内容がリンクしているが、項番1はわかりにくいです。表現を少し変えたほうが良いと考えます。</p>
D委員	<p>二つ目の質問の評価項目について表現を改めます。一つ目の質問の事業全体の見積もりについては、事業者に提出させるようにしています。資料3-3様式8で5年間のシステム構築概算費用見積書様式があり、令和二年度から令和六年度までのそれぞれの金額について、記載する必要があります。これに加えて、根拠となる見積内訳書についても募集要項のなかで提出させるように記載しています。</p>
事務局	<p>事業者が提出した見積書の金額と港区の予算額とが、あまりにもかけ離れる事態は想定していますか。また、そのような場合、問題はないですか。</p>
B委員	<p>事前にいくつかの会社から、5年分の見積もりを取得しており、それをもとにシステムアセスメントの評価をしてもらっています。システムアセスメントのなかで、今後ランニングコストとしてかかる費用についても評価をしてもらい、今後、それを根拠に見積もり設定や予算設定をする予定です。</p>
事務局	<p>査定が入った場合、システムアセスメントを通してしているので、財政課と協議してください。</p>
E委員	<p>協議します。</p> <p>資料3-4別紙3第一次審査委員採点表について、項番1「都市計画に関する各種情報をこれまで以上にわかりやすく提供でき、利便性を向上させる有益な機能を提案しているか」の部分、つまり新システムが現行システム以上にわかりやすく提供でき、利便性を向上させる有益な機能を提案しているかというところですが、採点者として現行システムのどんなところに不具合があり、どこが使いづらいか、という区民や利用者の声を、あらかじめわかったうえで審査したいです。まず採点の際には、区民や利用者の方のこういうところを改善して欲しいという声などがあると、スムーズに採点できると考えます。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
C委員	<p>区民目線での使いやすさが基本能力として大事ですが、一次審査で使いやすさの点数をつける審査項目がありません。事業者に対して、利用者がより使いやすくなるために、どのような工夫をしているのか、というアピールをしてもらいたい。一次審査でそのようなアピールをもらい、さらに二次審査のヒアリングでもその点について踏み込んでアピールしてもらい、区としても質問をしていくという趣旨を、公表図書に含めてください。</p>

事務局	資料3-4別紙3の提案については、一次審査で出てくるものなので、区が要求している水準についての適否を満たすことを前提として評価します。これら三項目について柔軟な発想を求めています。そこで出てきたものについて実現性や実際の操作性などを二次審査でやりとりしながら確認する場を設けています。委員のご指摘どおり、二段階で構成します。
C委員	資料3-4別紙3、三項目こそ我々委員が審査するところです。項番1は、付加価値をどのように考えて提案したか、項番2は、拡張性についてどのような用意があるか、項番3は、迅速な対応とフットワークについてどのような体制ができているか、ということが項目になっています。項番1、「評価の視点」を書き換えることで、使いやすさのための工夫をどうしたか、わかりやすさのために何をしているのかということを経営者から引き出せるのではないかと、その様式もあわせて工夫してください。
事務局	はい。そのように工夫します。
C委員	資料3-4審査基準表、一次審査の書類審査の事業者概要についてです。専門職員の数によって、配点が上下しています。測量士の数が100人以上だったら10点、50人以上だったら5点となっていますが、今回の事業とマンパワーの大きさがマッチしているか、評価のほうが大きすぎないか、大きい会社を求めすぎているか、という点が心配です。共同事業者を認めているプロポーザルなので専門家の人数欲しさに名前だけ共同事業者を募ってダミーの専門家の数で点を取りにくる恐れもあるので、ここの配点はあまり高くせず、担当する主任技術者自体の能力を高く審査するほうに重点をおくような点の置き方がいいと思います。
D委員	二次審査のなかでプレゼンテーションを行います。仕方が二つあり、公平性を保つ観点から条件を設定するケースと、条件を設定しないケースがありますが、今回のケースは特に設定枚数や条件は設定しないということですか。
事務局	まず一次審査の提案書については自由様式にしていますが、こちらの示している要求IDもあるので、必ずそれに対応するような書式にすることと、資料3-19ページに、提案書の形式について、A4縦文字サイズ12ポイント以上で総ページは30ページ以内というルールを設けています。この範囲のなかで、自由に提案できるようにしています。二次審査については基本的にパワーポイントを使い、表現の仕方については自由性を与えています。
B委員	資料4、実施スケジュールについてです。一次審査の結果通知が8月27日、8月30日がプレゼンテーションです。一次審査終了後、すぐに通知したほうが事業者の体制やプレゼンテーションの準備もできると思うので、そこを工夫してください。
事務局	8月27日までとしていますので、第二回選考委員会で特段問題がなければ、翌日に速やかに通知する予定です。
A委員	資料3-3様式7でチェックリストをつけていますが、これはエビデンスを用意するというのではなく、ただチェックをすればいいということですか。
事務局	基本的には自主チェックとなります。エビデンスについては、記載事項に虚偽があった場合、失格とする項目を設けています。

A委員	資料3-1、9ページ「提案書の形式」について。30ページ以内とありますが、事業者が30ページを書いたら結構なボリュームがあり、また評価する側も大変です。
事務局	30ページの様式とは別に分けています。提案書はその様式のなかで様々な要求事項に対する回答をしていく、様式7は回答欄に対応の可否をするものであり、提案書とは分けています。
A委員	インターネットで公表する書類は資料1～4のうち、どれを公表資料にするのでしょうか。
事務局	公表するものについては、資料1から資料3-3までです。審査基準表については事前に公表しませんので、最終結果通知の際に、委員の配点等を公表する予定です。
A委員	資料3-4別紙3について、評価するときどこを見ればいいですか。要求ID 4. 2. 4、5. 3. 2と書いてある部分を見ればいいということですか。
事務局	はい。企画提案書を配布する際は、対象場所に付箋を貼って明示しますので、その部分を確認してもらいます。
C委員	採点表は、事前に示されないとする、業務委託の提案要求仕様書で、事業者にわかりやすさや使いやすさの工夫を促す書き込みを入れていきます。例えば、8ページの提案事項仕様書の要求ID 4. 2. 4の その他機能、有益だと思われる機能について、どんな使いやすさの工夫をしたのか、事業者に促していくということになるのか。
事務局	こちらが求めていることが明確に事業者へ伝わるように、8ページの提案要求仕様書のなかで、具体的な提案事項のなかに要件として、そのような書き込みをしていきます。
委員長 全員 委員長	はい。他にいかがでしょうか。 (特になし)
委員長	最後にもう一度見直しをし、審査表は細かく書き込みを入れたので、もう一度提案要求仕様書に入っているかチェックをお願いします。今週末公表となり、多少手直しをしますが、内容については決定でいいですか。
全員 委員長	(特になし) それでは、事業候補者選考委員会設置要綱に始まり、審査基準表スケジュールまで本日ご提示された形で決定します。
委員長 全員 委員長 事務局	(2) その他 委員の方々から何かありますか。 (特になし) 事務局から何かありますか。 (特になし)

委員長	3 閉会 (閉会挨拶)
-----	----------------